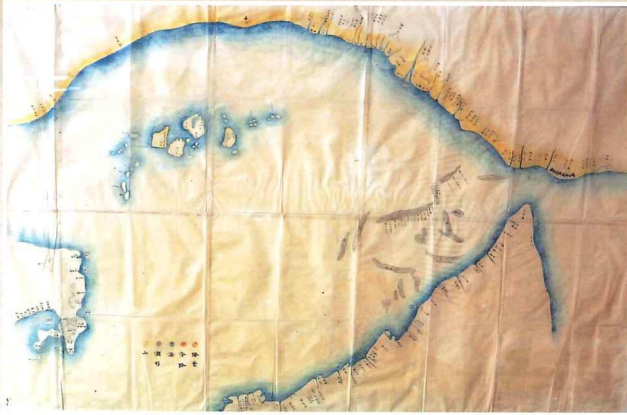


先人の
智慧を学ぶ



▲播磨灘の漁場図(江戸時代後期)

交通アクセス



- お車をご利用の方…北淡 I.C より北へ約7分
- 路線バスをご利用の方…
明石港(ジェノバライン)～岩屋ポートターミナル(あわ神あわ姫バス)
～浅野バス停下車、徒歩約3分

- 開館…9:00～17:00
- 休館日…毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
年始年末(12月28日～1月3日)

■入場料

| 区分 | 個人 | 団体(30人以上) |
|-----------|------|-----------|
| 大人(中学生以上) | 310円 | 250円 |
| 小人(幼児無料) | 150円 | 120円 |

※身体障害者手帳保持者は手帳掲示により、介護者と共に割引
大人150円(団体120円) 小人80円(団体60円)

淡路市北淡歴史民俗資料館

〒656-1741 兵庫県淡路市浅野南240
TEL 0799-70-4135
TEL/FAX 0799-82-2177
E-mail rekimin@leto.eonet.ne.jp

※各施設の展示内容は、特別展及び企画展などの開催により、変更する場合がございます。



ふれてみよう!
淡路市の歴史と文化

淡路市北淡歴史民俗資料館は、展示館・收藏館・保存館の3棟があり、淡路市の貴重な歴史資料を数多く収集・展示しています。各館での展示を通して、先人の暮らしを学んでいただくことができます。

海と山にかこまれた豊かな自然環境の中で育まれた淡路市の歴史と文化にふれてみてください。





展示館 1F 布団だんじりを飾る、水引幕、狭間彫刻など淡路市の祭りに関する資料を展示しています。また、四季折々の祭りについても紹介しており、各地域ごとの特色ある祭りを知ることができます。



◀ 現存する「どんざ」

展示館 2F 江戸時代末期の国学者・鈴木重胤の関係資料のほか、船乗りや漁師が着ていた刺子のどんざ、民具などを展示しています。



現存する「羅針盤」▶



収蔵館 収蔵館 1F ホールでは、貴船神社遺跡で発見された古墳時代の石敷き製塩炉（レプリカ）や、淡路市内の遺跡で発見されたタコつぼ、製塩土器など、海にまつわる考古資料を展示しています。

収蔵館 2F は、昔のカメラ、大坪焼、時計、灯りなどの数多くの資料を収蔵展示しています。

時空を刻む

▼重さを量るときに使用されていた「粒秤(台秤)」



「湯保温器」▶ 冬の手仕事で指先を温めて使用した。



保存館 県指定重要有形民俗文化財（昭和52年指定）旧原家住宅を保存館として公開しています。昔、淡路島北部地域によく見られた茅葺き寄棟造りの建物で、昭和50年に現在の場所に移築されました。館内では、当時の生活を知ることができる民俗資料を展示しています。（資料館の裏手にあります）



▲阪神淡路大震災によって壊れた大時計。地震発生時刻の状態で止まっている。



▲「子守り籠」
小さな子どもを入れて農作業や家事をした。



◀「牛車(馬車)」
大きな荷を運ぶときに使用されていた。